

経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県 中央市

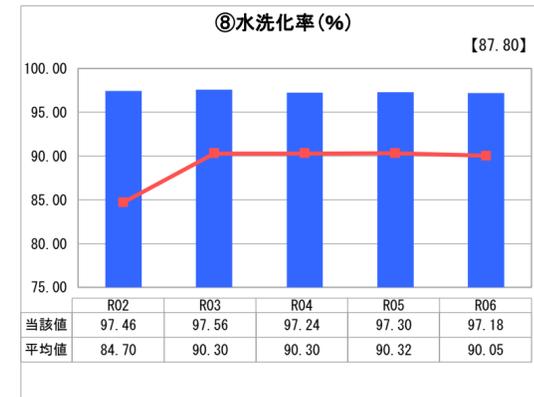
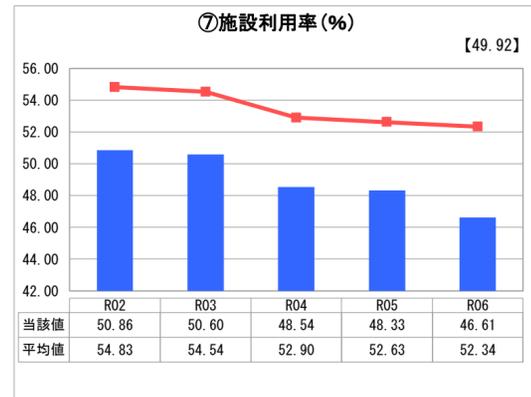
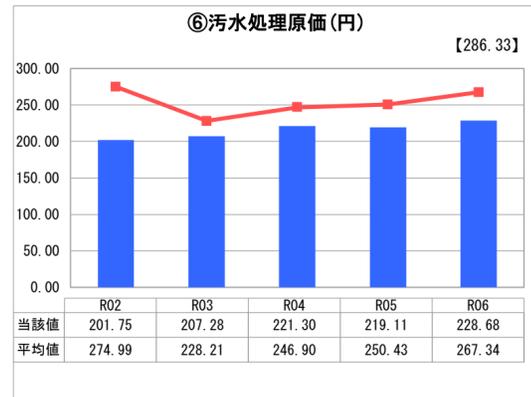
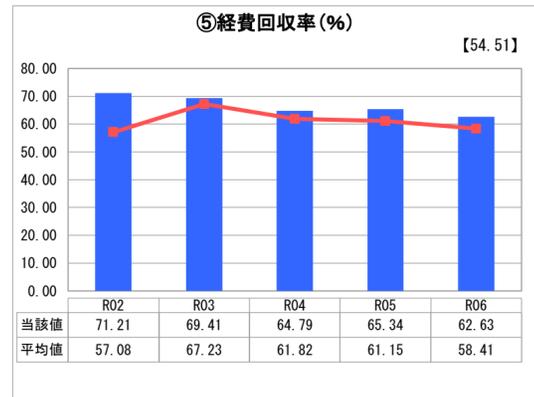
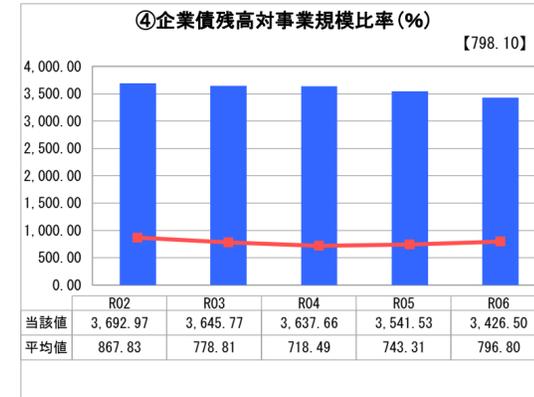
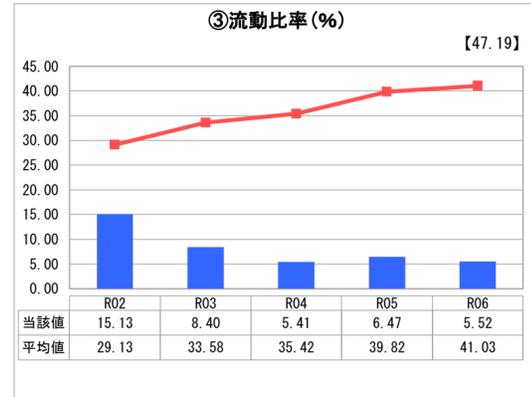
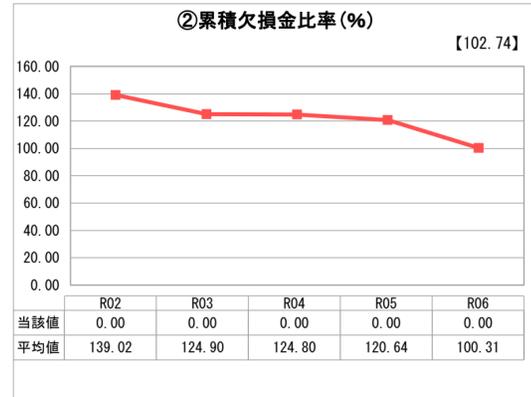
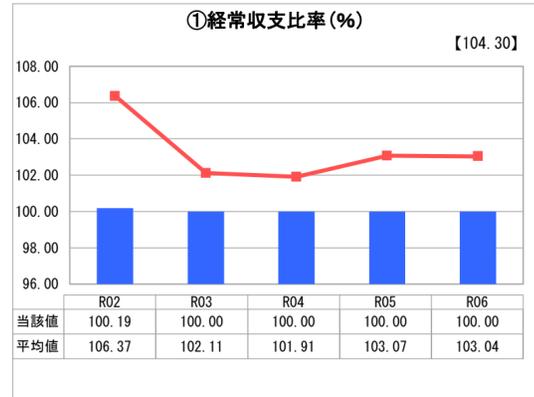
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	50.27	18.42	79.37	2,750

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,749	658.54	51.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,161	2.55	2,416.08

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

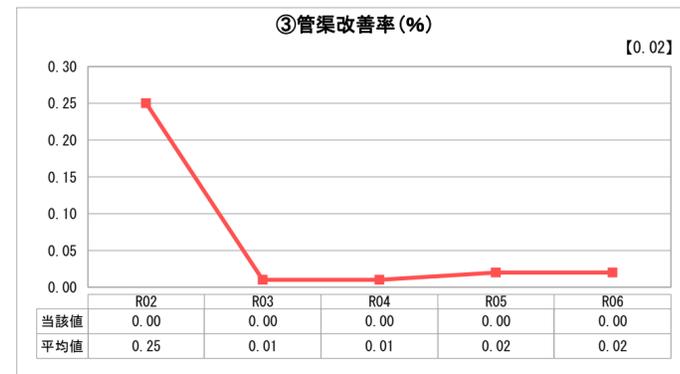
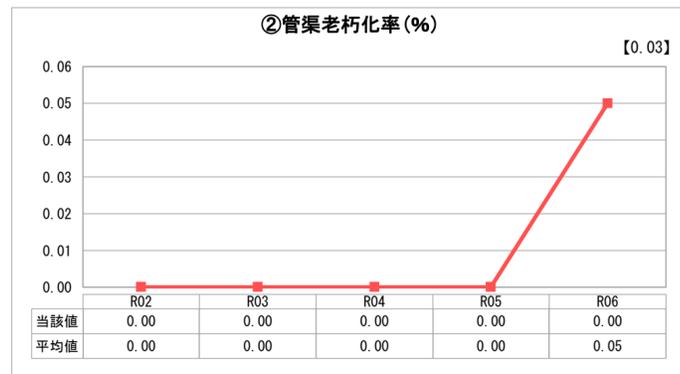
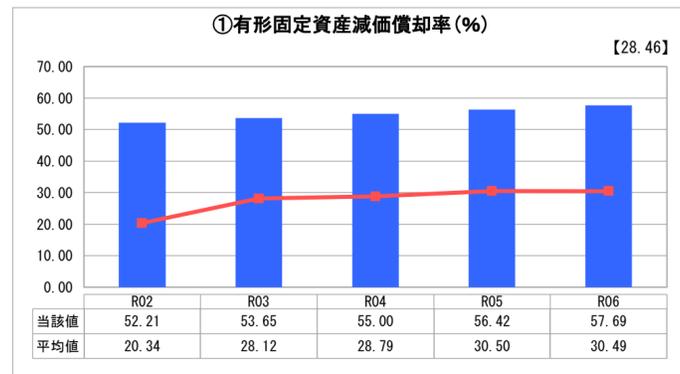
1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については、100%となっているが、一般会計からの繰入を行ったことによるものである。
 ②④流動比率の値が類似団体と比較しても低く、また、企業債残高対事業規模比率が高くなっているのは、当初の下水道施設整備に多額な費用がかかり、その地方債借入額が高額であることが影響していると考えられる。
 ⑤経費回収率については、全国及び類似団よりも上回っており、良好と言える。
 ⑥汚水処理原価については、全国及び類似団体平均よりも低くなっており良好と言えるが、効率的な経営により原価を抑えるよう努めていく必要がある。
 ⑧水洗化率は全国及び類似団体平均と比較して良好と言える。

2. 老朽化の状況について

管路老朽化率は低いが、マンホールポンプや計器などの機器類の償却が進んでおり、計画的な機器更新が必要となっている。今後は老朽化の進行とともに修繕料の増加が懸念される。

2. 老朽化の状況



全体総括

令和2年より地方公営企業法の財務規程適用により、消費税等の節税効果による経費節減が見込める一方で、一般会計からの繰入への依存を抑制するため、健全な経営化に向けて、経営体制のあり方や今後の投資のあり方、適切な使用料体系、汚水処理費の削減に向け、計画的で合理的な事業運営を図る必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管路老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。